

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
Serve to Change Lives

2021-22年度 RI会長／シェカール・メータ
RI.D2590ガバナー／小倉 正
横浜旭RC会長／北澤 正浩

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈

横浜市へ医療機器支援

旭ふれあい区民まつり

2022年4月20日 第2459回例会 VOL. 53 No. 21

- 司 会 副SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会 長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	22名	本日の出席数	18名
本日の出席率	85.71%	修正出席率	90.48%

■オンライン出席者

東谷、宋

■本日の欠席者

中谷、福村

■ゲスト

廣瀬貴樹様（一般社団法人かけはし代表理事）

■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。このところ雨の日が続いていますが、イギリスのことわざで「4月の雨が5月の花を連れてくる」というのがあるそうです。意味合いとしては「悪いことがあっても、先にはいいことがあるよ」という意味合いが込められているそうです。

ロシアのウクライナ侵攻は続いています。この侵攻により、我々にも影響がでてきています。元々原油価格や物価の高騰は深刻な問題でしたがウクライナ情勢を受け、さらに拍車がかかりました。私は建設業を営んでいますが、毎日のようにメーカーから値上げの連絡がきます。1年前と比べ、材料が平均で25%以上高くなってしまいました。値上げ分を工事金額に転嫁したいところなのですが、建設業は特に競争が激しい為、弊社の利益を削り、バランスを

取ることで受注を保っている状況です。また、木材もロシアからの輸入が多いので、ウッドショックといわれる木材不足がさらに深刻になりつつあります。

コロナ禍を抜け、これから経済活動を回復しなければならぬ時に大きな痛手になっていますが、ウクライナ市民が受けている苦しみに比べれば、我々が受ける影響は些細なことなのかもしれません。一刻も早くこの侵攻が終わり、世界に平穏な日々が戻ることを願っています。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○大和ロータリークラブ

日時 5月17日(火)⇒15日(日)移動例会

創立60周年記念式典に振替

2) 第15回 理事会議事録

日時/令和4年4月13日(水) 13時30分より

場所/例会場

出席者/北澤正浩 田川富男 新川 尚

佐藤真吾 安藤公一 市川慎二

欠席者/目黒恵一 宋謹衣

【審議事項】

1) 現在、休会中の会員への今後の対応について特別な事情により退会希望や休会している会員に対して、会費などをとらずに会員身分を残していける、特別会員のような方法を検討、継続審議していく。 ⇒承認

2) 親睦旅行について

親睦委員会にて、6月上旬に日帰り旅行を検討している。鎌倉見学、会食を予定している。
⇒承認

3) その他

特別会員である吉原さんに感謝状を作成し、最終例会にて贈呈を予定している。

次回の理事会を4月27日(水)17時～い志井にて開催する。尚、理事会後にコロナ感染の状況を鑑みて、理事と新会員の中谷会員、東谷会員との少数での懇親会を行う。
⇒承認

以上

■国際奉仕委員会 五十嵐 正
ウクライナ支援街頭募金ご協力をお願い。

皆様ご承知の通りウクライナでは悲惨な状況が報道されております。この度二宮登会員ご尽力により、下記諸団体と協同で街頭募金を行います。

横浜旭ロータリークラブ・横浜マニラ友好委員会
横浜インターナショナルスクール・鎌倉甲冑の会

日時 5月1日(日) 11時～13時

場所 横浜駅高島屋前・桜木町駅前

ご協力をお願いします。集合場所等追ってご連絡いたします。

■ニコニコBOX

安藤 公一／廣瀬様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

北澤 正浩／一般社団法人かけはし、代表理事廣瀬貴樹様、本日はようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願ひいたします。

市川 慎二／一般社団法人かけはし、代表理事廣瀬貴樹様、本日は卓話よろしくお願ひいたします。卒園生も大変お世話になりました。

新川 尚／一般社団法人かけはし、代表理事廣瀬様本日はよろしくお願ひします。

関口 友宏／妻に誕生祝いを頂き、ありがとうございます。

佐藤 利明／廣瀬貴樹様、本日はお忙しい中卓話いただきありがとうございます。

五十嵐 正／一般社団法人かけはし、代表理事廣瀬様、本日の卓話よろしくお願ひします。

内田 敏／一般社団法人かけはし、代表理事廣瀬様、本日の卓話楽しみです。

岡田 隆／廣瀬様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

二宮 登／廣瀬様をお迎えして。

佐藤 真吾／一般社団法人かけはし、代表理事廣瀬貴樹様、本日はお忙しい所当クラブ例会にお越し下さり有難うございます。卓話よろしくお願ひ致します。

■卓話「不登校のこどもたちが安心できる居場所づくり」

一般社団法人かけはし代表理事 廣瀬 貴樹



みなさま、あらためましてこんにちは。一般社団法人かけはしの代表理事の廣瀬貴樹と申します。この度は、お話をさせていただく機会をいただき、本当にありがとうございます。今日はよろしくお願ひします。

私は2021年3月までは横浜市の小学校の教員でした。妻も教員でしたが、夫婦で同時に退職し、4月には不登校のこどもたちの居場所づくりをはじめました。そして5月には、一般社団法人として設立し、ちょうど1年になろうとしています。

なぜ、教員を辞めて、このような道を選んだのか、お話をさせていただきます。

教員生活14年間の中で、私はさまざまなこどもたちと出会いました。様々な家庭環境の中で学校に行きたくても行けない子、集団が苦手な子、人とコミュニケーションをとることが難しい子、いろいろな背景のある子と真正面から向き合ってきた中で、一人の教師としてできることの限界を感じていました。

ドラマ「金八先生」にあこがれ、その子ども家庭の中にも入って全力で向き合う教師像を描いて教師になりましたが、自分自身は一人ひとりのこどもたちに、一人ひとりが抱える困難にどれだけ向き合えているのか、葛藤がありました。夫婦で話し合い、「一人ひとりにとことん向き合いたい」「学校に行けないこどもたちが

安心できる居場所をつくりたい」と考え、私たちは退職を決意しました。

1 一般社団法人かけはし とは

2021年4月7日に立ち上げ 5月 法人設立

設立趣旨

- 生きづらさを抱えている子どもたち
- ・発達障害
- ・人間関係
- ・複雑な家庭環境
- ・子どもの貧困
- ・学校のしくみ



不登校の子どもたちの中には、発達障害、人間関係のつまずき、複雑な家庭環境、子どもの貧困、学校のしくみに合わないなど、様々な背景があります。そのような生きづらさを抱えた子どもたちを学校だけで支えていくことには限界があると感じてきました。

学校の多忙化、担任や児童支援専任の先生の限界、何か問題が起こると、すべて学校の責任になる現実……。学校の先生方は、本当に激務の中で懸命に子どもたちと向き合っています。

不登校の子どもたちが安心できる居場所

安心して自分らしく居られる居場所づくり

自分が自分を好きになれる = 自己肯定感

子どもたちの「今」と「未来」のかけはしになりたい
「子どもたち」と「人」との出会いのかけはしになりたい
「まだ知らない自分」と「新しい自分」とのかけはしになりたい
だれもが幸せに生きることができる社会へのかけはしになりたい

子どもたちの視点からみると、人間関係での不安、集団行動が苦手、学習でのつまずき、45分間ずっと座ってられない、複雑な家庭環境、コロナが与える影響など、不登校になった理由は、一人ひとりちがいます。

不登校の子どもたちはどれだけいるのか。旭

不登校の現状 (旭区) R1年度

	H30			R1		
	児童数	不登校児童数	出現率	児童数	不登校児童数	出現率
小学校	12,172	131	1.08%	12,105	147	1.21%
中学校	5,261	229	4.35%	5,227	244	4.67%

小学校 (24校) 中学校 (12校)

147人

244人

区のデータを見ると、令和元年度、小学校24校で147人、中学校12校で244人にのぼります。他の区のデータを見ても、どこの区でも不登校のこどもの数は旭区と同じように多く、増加しています。

一般社団法人かけはしでは、このような現実を受け止め、不登校の子どもたちが安心できる居場所づくりを事業の柱として取り組んでいます。

子どもたち自身が、自分を好きになれる、つまり自信をもつこと、一人一人が自己肯定感を高めることを一番大切にしています。

かけはしの名前には、子どもたちの今と未来の“かけはし”になりたい、子どもたちと人との出会いの“かけはし”になりたい、まだ知らない自分と新しい自分との“かけはし”になりたい、そしてだれもが幸せに生きることができる社会への“かけはし”になりたい、という思いが込められています。

体制は、役員が14名おり、私と妻が教員時代に大変お世話になり信頼できる方々をお願いします。ご指南を受けながら事業を進めております。常勤スタッフは2名、非常勤スタッフが3名、インターンが1名、そして多くのボランティアさんに支えられています。

続いて、事業説明です。大きな柱の事業は、学校に行けない子どもを支えたいという思いで「まなべるいばしょ」事業を行っています。昨年度、140回開催し、参加した子どもは延べ人数で958名になります。

月曜日は、下和泉地域ケアプラザで居場所を開いています。部屋に入ると、好きな場所に座

月曜日 下和泉地域ケアプラザ



り、みんな思い思いに過ごしています。ボランティアさんとジェンガをやる子、こまを回し続ける子、ボランティアさんと腕相撲をやる子、お母さんもまざってボードゲームをやる子な

ど、やりたいことを自分で決めるということを大切にしています。スタッフやボランティアさんは、子どもたちがやりたいことにとことん寄り添うように接しています。学校のように決められたカリキュラムはありません。

外に行きたいときは、深谷通信隊まで歩いていきます。広場でサッカーをしたり、野球をしたり、子どもたちは思いっきり体を動かして楽しめます。また近くに「湧き水の森」という自然あふれる場所まで歩いていき、そこでリスを観察したり、様々な生き物を探したり、自然とふれあいながら過ごしています。

水曜日 いちょうコミュニティハウス



水曜日は、いちょうコミュニティハウスで居場所を開いています。もともとは、いちょう小学校だった場所で、統廃合により使わなくなった旧校舎がコミュニティハウスになり、その一角を使わせていただいています。

そこでも、大学生ボランティアさんに教わりながら勉強をしたり、友達とゲームをしたり、組みひもをつくったり、子どもたちがやりたいことを決めて過ごします。最初は、一人ひとりで過ごしていた子どもたちでしたが、だんだんと慣れていくと友達と話したり、いっしょに遊んだり、自然と友達と仲良くなっていく姿があります。

和室をお借りすることもあり、静かに過ごしたい子が過ごせるように工夫しています。

一人の女の子が「テントをつくりたい」と話してくれたときには、テントの作り方をいっしょに考え、材料を調達して立派なテントを作った子もいます。

校庭では、茅ヶ崎市からきてくれる小学1年生の子がバットをにぎり、4年生の男の子がボールをやさしく投げられて、野球が行われていたり、モルックという海外で流行している

遊びを体験したり、いろいろな形で体を動かしています。

さらに、ここには体育館もあります。子どもたちにとっても人気な場所で、体育館でドッジボールをすることが多いです。小学生も中学生も大人もまざって、多い時には15人以上でドッジボールが行われています。

金曜日 いずみ野地域ケアプラザ



金曜日は、いずみ野地域ケアプラザで居場所を開いています。ここでも同じく、子どもたちが自分で決めてやりたいことをやって過ごしています。タブレットをもってきて、学校の授業を画面で見ながらオンラインで授業を受けながら、自分のやりたいことをやる子もいます。ここでも外に出たい子がいるときは、公園まで歩いていき、バドミントンをしたり、なわとびをしたりして体を動かしています。

また泉図書館の会議室をお借りして、本を読むときもあります。子どもたちと本との出会いもまた豊かな経験となると考えています。

金曜日 泉図書館



居場所づくりの他にも、イベントがあります。不登校の子どもたちは、遠足や校外学習、修学旅行など、学校行事に参加できないことがあります。かけはしでは、子どもたちが「こんなことをしたい」という思いを話してくれたときは、それを叶えられるように全力で動きます。昨年

イベント 秋の遠足



度は、大和ふれあいの森に遠足に行ったり、ゆめが丘にあるキャンプ場にキャンプに行き、キャンプファイヤーをしたり、クリスマス会をやったり、江の島に遠足にいったりしました。

また特別講座というものをやっています。「体を鍛えたい」という思いをもった子がいて、この子とプロのトレーナーさんと出会わせたいと思ったら、すぐにトレーナーをさがします。教員になった一年目のときに出会った教え子がプロのトレーナーになったことを思い出し、すぐに連絡し、翌週には居場所に来てくれました。その子は、とても喜んで、プロのトレーナーから教えてもらいながら筋トレを行っていました。

カメラ講座では、カメラが趣味の先生がこどもたちのために、フィルムカメラを準備してくださり、使い方を教えてくれました。フィルムカメラをはじめて触った子はとてもうれしそうに、シャッターを押していました。

模型講座では、タウンニュースに掲載されていた方で、千と千尋の神隠しなどの素晴らしい模型を作っている方が泉区にいることを知り、すぐに連絡して実現した講座です。こどもたちに優しく模型の作り方などを教えてくださいました。

ダンス講座は、中学生の女の子が「ダンスを

ダンス講座



したい」といった言葉がきっかけで、プロのダンサーさんを見つけて、実現しました。韓国のグループのダンスを教えてもらってとても楽しそうでした。

D I Y講座も行いました。一軒の空き家をお借りして、こどもたちとD I Yを行ってきました。大工さんや塗装屋さんや左官屋さんに教えてもらいながら、こどもたちはD I Yを楽しみながら体験していました。この空き家は、コミュニティカフェにしようと取り組んでいます。

そして、今年度から居場所が増えました。旭区の南希望ヶ丘地域ケアプラザで第1・第3火曜日に居場所を行うことになりました。10人以上の地域のボランティアさんに支えて頂きながら、居場所を開いています。緊張しながら来てくれたこどもたちもとても楽しそうに過ごしていました。

続いて、わくわく農園です。かけはしでは、泉区内に5か所畑を借りています。昨年度のサツマイモ掘りでは、30名以上が参加しました。大根もたくさんとれました。先月は、じゃがいもを植えました。畑の活動は、こどもたちにとってもよい経験になると考えています。

また、「なんでも相談」を受け付けています。学校での悩みや子育ての悩みなど、なんでも聞きながら、一緒に考えるというスタンスで相談にのっています。

「大人のかげはし」というオンライン上で保護者の方々が繋がれる取組もはじめました。お互いの悩みを共有でき、親同士でつながることも大きな意味があると思っています。

ここまでが、居場所についての説明でしたが、他にも一般社団法人かけはしでは、さまざまな事業を行っています。

「こどもたちの可能性や世界を広げたい」という思いで「こどもキャリア大学」を設立しました。美容師、起業家、建築士、看護師などさまざまな職業のプロフェッショナルの方をお呼びして、人生についての話を聞いたり、体験的なワークショップを行ったりすることを通して、こどもたちが自分の生き方を見つめることができるような機会をつくろうと企画しています。藤松産業の佐藤さんにも講師となっていただきました。

さらに「かけはしプロジェクト」といって、

こどもたち主体の問題解決のプロジェクトを立ち上げました。SDGsの目標について話し合い、自分たちにできることを考えて、取り組んでいます。昨年度は、戦争問題について議論したり、小児がんで苦しむ方々に対して、レモネードの取組を知ってもらうイベントを企画して実行したりしました。

また「地域の中でこどもたちを支えたい」という思いで、泉区こどもの居場所連絡協議会をつくったり、コミュニティカフェをつくったり、放課後キッズクラブの学習支援をしたり、さまざまな活動をしています。

このような活動を伝えるために、広報活動に

3 地域の中でこどもたちを支えたい

泉区こどもの居場所連絡協議会 かけカフェ 地域の居場所支援



学校連携について

お子さんと保護者の方の希望があれば、在籍校と連携

かけはしの居場所での活動の様子、イベント、特別講座、農園活動などでのこどもたち一人ひとりの姿を記録し、月一回の学校訪問

情報共有

「出席扱い」

も力を入れ、かけはしライターさん（ボランティア）を中心に記事をかいていただき、SNSなどで発信しています。

学校にも居場所でのこどもたちの様子を知ってもらおうと、昨年度は71回、訪問しました。今では、かけはしの居場所に来れば「出席扱い」も認めてくださっています。居場所での要素を丁寧に記録し、伝えることで、学校の先生方に、学校以外の学び場でのこどもたちの姿を知ってもらい、よりよい支援のあり方をいっしょに考えています。

これからもこどもたちのために全力で取り組んでいく決意です。今日は、本当にありがとうございました。

■次回卓話 5/4（休会）5/11 東谷会員

2022年度3月出席率一覧表

員数	会員名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会員名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	安藤 公一	100	0	100	14	岡田 隆	100	0	100	
2	福村 正	25	0	25	15	太田 勝典	－出席規定免除－			
3	五十嵐 正	100	0	100	16	佐藤 真吾	100	0	100	
4	兵藤 哲夫	－出席規定免除－			17	佐藤 利明	－出席規定免除－			
5	市川 慎二	100	0	100	18	関口 友宏	100	0	100	
6	平子 智章	75	0	75	19	宋 謹衣	75	25	100	
7	北澤 正浩	100	0	100	20	田川 富男	100	0	100	
8	増田 嘉一郎	100	0	100	21	内田 敏	－出席規定免除－			
9	目黒 恵一	－休会扱い－			22	東谷 充	－3/9入会－			
10	中谷 逸希	0	0	0	23					
11	新川 尚	100	50	150	24					
12	二宮 登	100	0	100	25					
13	二宮 麻理子	100	0	100	26					
例会日		2日		9日		16日		23日		平均
例会出席率		$\frac{16}{19}$	84.21%	$\frac{17}{20}$	85.00%	$\frac{16}{21}$	76.19%	$\frac{17}{20}$	85.00%	
修正出席率		$\frac{16}{19}$	84.21%	$\frac{18}{20}$	90.00%	$\frac{16}{21}$	76.19%	$\frac{17}{20}$	85.00%	83.85%